

鬼怒申だより

第9号



令和 4年 3月24日
 発行者 校長 柿沼 靖雄

生徒信条 ～ 自ら判断し、実行し、責任を持とう ～

卒業式

令和4年3月10日（木）に、第40回卒業証書授与式を無事に挙行いたしました。卒業生179名が義務教育を修了しそれぞれの道へ力強く一步を踏み出しました。今回も昨年に引き続き、来賓にはPTA会長様お一人のみをお招きし、卒業生と卒業生保護者のみでの実施となりました。「卒業、本当におめでとう。これからも頑張れ。」との思いを込めて一人一人に卒業証書を手渡しました。受け取る卒業生の顔は、昨日までとは違う大人びた顔になっていました。在校生代表としてただ一人参列した2年生の北川夏楓さんの送辞は、堂々とした態度で先輩たちへの感謝と次の鬼怒中学校を担う決意を述べたすばらしい送辞でした。卒業生代表引地恵太さんの答辞は、落ち着いた口調で三年間の思い出や学んできたこと、これから先の未来に向かう力強い決意、そして、今まで関わってくださった方々への感謝を述べた実に感動的な答辞でした。卒業生の皆さんのこれからのご活躍とご多幸をお祈りいたします。



* 3年担任が卒業生に向けた最後のメッセージを黒板に書きました。

学年レクリエーション（２年生）

３月１８日（金）に、２年生が年度最後の楽しいイベントとして学年レクリエーションを行いました。学年委員がコロナ対策等も考慮し、分散して実施できるよう多くの種目を設定しました。わずかな時間ではありましたが、楽しいひとときが過ごせました。



校則の見直し

本校生徒会が校則の見直しを行いました。令和３年度後期の生徒会長、北川夏楓さんの掲げた公約に基づいて取り組んだものです。まず、全校生徒に「見直すべき校則はあるか・ないか」をアンケート調査を実施しましたが、結果は「見直す必要はない」の割合が72.8%というものでした。この結果を受け、多数決の原理により「校則は変更しない」という結論を出しても問題はないのですが、生徒会では変更してほしいという少数意見を拾い上げることにしました。その意見の妥当性等について慎重に論議し、「靴下の色を現行の白に黒と紺を追加する」という改正案をまとめ、再度全校生徒にアンケートを行いました。結果、68.2%が変更に賛成となったため、学校に校則変更の提案をいたしました。学校ではこれを受け職員会議で検討し、次年度より「靴下の色は白・黒・紺」と変更することに決定いたしました。今回は生徒会が民主的な手続きを経て校則改正に取り組んだことが非常に素晴らしいことです。ここ数年間の生徒会は、本校生徒のリーダーとして主体的な活動を行っており、本校の雰囲気を実実に変えています。また、生徒への提案・アンケートの文面・アンケートの処理・職員会議への提案文書等はタブレットを使って北川さんと副会長の越井ちほさんを中心に生徒が全てを作成しています。本当に力がある生徒たちであり、今後の鬼怒中学校が楽しみです。

令和３年度が終わりました

本日、令和３年度の修了式を実施いたしました。本年度も新型コロナウイルス感染症が猛威をふるった１年となりました。窮屈な日常生活も、既に当たり前のこととなり、常にマスクをつけた顔を見ているため、マスクを外すと誰かわからないというようなこともでてきました。学校行事も規模を縮小したり実施方法を工夫したりしながら進めてまいりましたが、時期によっては残念ながらそれも叶わず中止となったものもありました。しかしながら生徒たちは、その制限の多い中でも、精一杯楽しみ充実した生活を送ってくれました。まだまだどのようになっていくかわからない状況が続くと思いますが、一刻も早く、コロナの心配をしない日々がですむ日々が戻ってほしいものです。

今年１年間、本校教育に対するご理解とご支援誠にありがとうございました。

＊学校HPにはカラー版が掲載されています。ぜひ、そちらもご覧ください。